

2005 年度 経済原論 : 期末試験

2006 年 1 月 31 日 (火)

< 注意 >

以下の 4 問すべてについて解答すること。配点は各問 25 点で、合計 100 点。
計算問題については、計算過程も示すこと。

< 問題 >

[第 1 問] ある財市場の供給曲線と需要曲線が、それぞれ

$$P=10+3S$$

$$P=130-D$$

で表せるものとする。ただし、 P は価格、 S は供給、 D は需要である。このとき、以下の設問に答えなさい。計算過程も示すこと。割り切れない場合は小数点第二位以下を四捨五入すること。

均衡における価格と取引量を計算しなさい。(各 5 点・計 10 点)

一律に 8 だけの消費税が課されたとする。新しい均衡における消費者価格と取引量、および生産者価格を計算しなさい。(各 5 点・計 15 点)

[第 2 問] 需要・供給分析の図を用いて、以下の問に答えなさい。

政府が賃金の下限を強制的に設定すると、労働市場にどのような影響がもたらされるか。図示し、プラス面・マイナス面の両方に触れながら説明しなさい。(10 点)

しばしば、使用価値と交換価値は一致しないと言われる。例えば、水の使用価値は極めて高いのに、その価格(交換価値)は低い。逆に、ダイヤモンドの使用価値はそれほど高くないが、価格は非常に高い。このような現象は何故生じるのか。(15 点)

[第 3 問] ある工場では、製品を X 個作ると、 X^2 の費用がかかる。つまり、 C を費用とすると、

$$C=X^2$$

と表せる。このとき、以下の設問に答えなさい。

この製品の市場価格が P のとき、利潤最大化の条件を示しなさい。(10 点)

$P=100$ のとき、利潤が最大になるような製造個数を求めなさい。(5 点)

上記のケースでの利潤はいくらか。(10 点)

[第 4 問] 余剰分析の考え方をを用いて、以下の設問に答えなさい。

市場の失敗がなければ、均衡において社会的余剰が最大になることを図示して説明しなさい。(10 点)

外部性が存在するとき、市場均衡の下では社会的余剰が最大にならないことを図示して説明しなさい。(15 点)